

南丹市地域公共交通活性化協議会

議

事

録

南丹市地域公共交通活性化協議会 事務局

(南丹市地域振興部地域振興課)

南丹市地域公共交通活性化協議会
(令和6年10月31日開催) 議事録

1. 招集年月日 令和6年10月4日(金)
2. 開催年月日 令和6年10月31日(木) 10時55分～11時20分
3. 開催場所 南丹市役所 2号庁舎3階301会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
 - (1) 委員の総数 25名
 - (2) 出席者数 17名
 - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり
5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司会	それでは、(地域公共交通会議に引き続き) 南丹市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。 議長につきましては、南丹市地域公共交通活性化協議会規約第8条第1項により、会長があたることになっていますので、松中会長、よろしくお願いします。
会長	委員の皆さま、地域公共交通会議から引き続きとなりますが、 よろしくお願いします。 それでは、第1号報告「令和6年度事業の中間報告」について、 事務局から説明をお願いします。
事務局	令和6年度事業の中間報告になりますが、ご報告させていただきます。 南丹市の地域公共交通計画であります、施策一覧を、今年度現在の状況について一覧表として記載させてもらった表になります。 表の左側から上部の欄に、施策名と入っていると思いますが、その2つ目、取り組み内容については、今年度の実施内容と、現在の状況を、その右側に項目として書かせてもらったところがございます。 今回このうち本来すべて1つ1つ、報告させていただくべきところではありますが、申し訳ありませんが今回はこのうち、現時点で、具体的に実施している取り組みについて、太字になっている部分を順番に報告させていただきたいと思っております。 施策の番号順ですけれども、計画書の方には、JR園部駅への電

車遅延の場合、JR とぐるりんバスと連携していただいて、到着に合わせてバスの出発できる体制を検討するとあります。現状、事業者の中京交通様の状況ですが、JR のアプリケーションの方と、電光掲示板などをもとに、遅延情報を掴んでおられ、ぐるりんバスが循環系統ということもあって園部駅に戻ってこられたときに、接続する電車に間に合わないこともあるということで、JR に遅延があったときに、それぞれどれぐらい待つかというのは、便ごとに判断されるという状況です。

計画の方では遅延の場合でも、電車の到着に合わせて、いけるというところではあるのですが、現時点では中京交通様のご対応以上のことはなかなか難しいのかなと思っている所ですが、引き続き検討していきたいと考えているところです。

次の神吉線の運行空白時間でのデマンドバスの運行ですけれども、現状、神吉線の運行空白時間帯13時から16時ぐらいになるかとは思いますが、地域の移動の足の確保として、八木のデマンドバスの運行を検討しますというところです。これについては現在、京都府と協議をして、検討しているところです。これに関連して情報を報告させていただくことが1つありまして、京阪京都交通様におかれましては、今年9月にダイヤ改正を実施されておられるということを報告させていただきます。

その内容が資料2になります。

次に、園部駅の交通サービスというところですが、取り組みとしては園部駅の改札周辺に、バス乗り場の方向を示すサインを設置する、乗り場にわかりやすい案内営業を充実することを、計画しているところですが、現在園部駅観光案内所に、デジタルサイネージによる路線バスの時刻表案内を設置できないかと、内部検討の段階であります。

なお施策の園部駅や園部駅周辺には待合室の向上の取り組みの内容にもデジタルサイネージの設置の検討をするという部分があります。

次に、わかりやすいバス停の整備というところがございます。バス停位置とか、バス停の名称の統一化です。バス停の安全対策に努めるという報告ですが、これも現在検討中ということではあります。関連報告としまして、地元の方と連携して、美山の大野バス停で、学生さんがデザインした、バス停の標柱を新たに設置できないかという提案をいただいております。現在調整していると

いうことを、この場で報告させていただきます。

次に、八木駅の交通結節機能の強化及び待合環境の向上についてです。計画の方では、八木駅東口の待合空間の整備を挙げているところでございます。八木駅の東口で、バスを待つお客様に座っていただく椅子が見当たりませんでしたので、現在八木駅の東口広場の近くで、エレベーターの近くになりますが、バス停近くに椅子を設置させていただいたことを報告させていただきます。

次に、デジタル化の導入等による、利便性向上でございます。ぐるりんバスではすでにICOCAを導入されていますが、市営バスではまだ導入されていません。

現在準備中ではありますが、南丹市の窓口の方で、pay payによる支払を導入するというところで、南丹市市営バスにおいても、一部の路線からですが、決済の導入を一緒にできないかということで、準備しているところでございます。

開始予定日が、令和7年1月からということですが、まずは、観光客の多い美山園部線の方に試験導入をさせていただいて、他の路線の導入については、その利用状況や、利便性等を確認させていただいて、広げていくことも検討したいという考えで進めております。

ターゲットに合わせた利用促進活動の実施ということで、子どもや高齢者の方に向けた利便性向上についての部分でございます。中学3年生、高校3年生向けの進学後の公共交通を利用した通学を促進するというところで、チラシを配布する予定をしております。これは南丹市の方では京都府と綾部市、京丹波町で構成する、山陰本線園部綾部間公共交通活性化協議会に参画していますので、そこで作成されたものを、使わせていただく予定です。

また、公共交通の初心者講習会の体験会についての報告をさせていただきます。殿田小学校、胡麻郷小学校の校外学習のために市営バスを利用するというのを企画されました。その際に、市営バス事務所の職員を派遣させていただきまして、市営バスの乗り方の説明会を実施しました。両校とも日吉町の小学校で、バスの通学者についてはスクールバスではなくて、市営バスの運行路線を使って、通学している学校でこのような説明会をさせていただくことによって、通学距離が近い方は徒歩通学をしているのですが、市営バスを利用した時のために、市営バスの乗り方を学んでいただき、利用促進につなげたいところです。

	<p>次に、地域主体の利用促進活動への支援ということと、マニュアルづくり、地域住民を対象とした勉強会の開催といった部分とございます。こちらの報告内容としては、先ほどの公共交通会議の方でも報告させていただきました。バスを知ろう会のイベントに、市営バスの車両を使っているというので、活動として報告を上げさせていただきました。持続可能な公共交通の実現に向けて進めて参りたいと思っております。</p>
会長	<p>ただいまご説明いたしました、本年度事業の中間報告につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>すみません。paypayの決済を導入されることでしたけども、ICOCAの利用は通勤通学をされる方は、多いだろうと思うのですが、いつごろからICOCAの導入を検討されるかお伺いをしたいと思います。</p> <p>それと、もう1点、残念ながら神吉線、八田線のダイヤ改正です。これはもちろん、利用者の方、ドライバーの方の人数が足りてない部分もあると思われそうですが、地域住民の方がもし不便等々のお声があれば、教えて頂きたいと思っております。お願いいたします。</p>
事務局	<p>ICOCAの導入につきましても、検討しているところではございますが、費用面も考えて、いつから導入できるかというところは、現状では申し上げられる段階ではございません。</p> <p>神吉線、八田線での京阪京都交通のダイヤ改正の部分については、地元の方からは、朝一番の便がなくなったことで、出掛けにくくなったという声がありますが、毎日の乗車というものではないので、利用実績に合わせた結果のダイヤ改正ということですので、以上です。</p>
会長	<p>わかりました。少ない利用者とはいえ丁寧な対応をして頂きたいです。paypayを導入することについては、観光客に対しては便利ではあると思いますが、市民にとってはやはりICOCAの方がより便利だと思いますので、検討をよろしくお願いします。</p> <p>それからpaypayが導入される路線は、均一運賃もしくは距離制の運賃なのでしょうか。</p>
事務局	<p>ゾーン料金制で、paypayを導入する路線は美山園部線という、美山町から日吉町、若しくは1日2便だけ園部町から美山町まで運行している路線になるのですが、日吉町から美山町まで600円、日吉町内だけの移動だったら300円というような料金体系</p>

	<p>であり、均一の運賃ではなく、ある一定ゾーンの段階的に300円600円900円と変わっていく区間であります。そういった部分の料金体制も paypay は対応できるということは、確認はしております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>公共交通のわかりやすさの向上で、わかりやすいバス停の整備ということで、美山町の大野で具体的に中学生の依頼したものということをおっしゃったと思いますが、わかりやすいバス停の整備の中で、どういう形を考えておられるのかということをお教え頂きたいと思っております。</p>
事務局	<p>現在想定しているのは、バス停の標柱が木の棒で、通常あるようなコンクリートの土台があって南丹市営バスと書いてあるものになるのですが、これをちょっと京都府立大学の方から提案を受けて、地元と連携の上、学生が新たにデザインしたものを設置できないかということで提案を受けており、かっこいい形のものにしていただくと、というようなことの提案を受けておまして、大野のバス停の標柱については、それに変えられないか検討を進めているところです。それには別途時刻表を貼り付けて、周知させていただくような形にして検討しております。以上でございます。</p>
会長	<p>作成は中学生ということですか。</p>
事務局	<p>京都府立大学の大学生の方だと聞いております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。大学生の皆さんがデザインしたものを、ぜひ完成するためにはですね、皆様もよく、お話をさせていただいて、その地域のオンリーワンをデザインして頂くのが良いかなと思います。</p> <p>他に何かございますでしょうか。</p> <p>本年度事業の中間報告ということでございます。いくつか事業は順調に取り組んでおられるということでございます。一方で今年度も半分が終わりましたが、遅れている事業は引き続き、ぜひ進めていただければと思います。</p> <p>それでは特に他にご意見がないようでしたら、次に移りたいと思います。</p> <p>続きまして第2号報告ということで、南丹市公共交通活性化協議会規約、会計事務取扱規程及び事務局規程の廃止につきまして、ご説明をお願いいたします。</p>

事務局	<p>失礼いたします。第2号報告「南丹市地域公共交通活性化協議会規約、会計事務取扱規程及び事務局規程の廃止」について、ご報告します。</p> <p>南丹市地域公共交通活性化協議会は、規約、会計事務取扱規程、事務局規程を定めておりますが、令和7年4月1日から南丹市地域公共交通会議と統合し、新たな「南丹市地域公共交通会議」として運営していくことに伴い、今年度末をもって廃止とする方針でございますので、報告いたします。</p> <p>先の地域公共交通会議でもお伝えしましたとおり、次回今年度第3回南丹市地域公共交通活性化協議会を開催予定であり、その際に廃止について協議・承認いただく予定としております。現時点では、先だっの報告として、委員の皆さまに共有いたします。以上でございます。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>ただいまの報告につきまして何かご意見ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、本日準備しておりました、議題報告事項は以上となります。</p> <p>続きまして、その他について委員の皆様からご意見がございましたらよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>それでは特にご意見等ございませんようですので、以上をもちまして、議事を終了させていただきます。皆様のご協力により、円滑に議事を進行することができました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
司会	<p>松中会長、会議の円滑な議事進行、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、吉田副会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
副会長	<p>皆様大変お忙しい中、ご出席を賜りました。本当にありがとうございました。そしてまた、ご協議、審議を賜り、本当にありがとうございました。本日は大変ご苦勞様でございました。ありがとうございました。</p>
司会	<p>以上をもちまして南丹市地域公共交通活性化協議会を閉会します。長時間のご審議、誠にありがとうございました</p>